水防演習のポイント

①北上川上下流での水防演習同時開催

・カスリン台風から60年を迎えることを機に、上流部の「岩手河川国道事務所」及び「一関市」で実施される水防訓練を結び、情報の共有を図る。

※　衛星通信車、みちのく号等による一関市水防演習の実況

②住民参加型の演習

・町内会、障害者施設における避難訓練を実施

※　石巻市不動町内会、石巻市福祉作業所みどり園

・演習会場における小学生と保護者による避難訓練

※　石巻市飯野川第一小学校

・地元（石巻市・大崎市）高校生による水防工法体験

※　宮城県立石巻工業・古川工業高校生による土のう積み工の実施

・災害協定締結企業（イオン（株）石巻店）による救援物資輸送訓練

※　石巻市との災害協定に基づき、救援物資（毛布、食料など）を石巻市長へ手渡

・一般住民に分かりやすく水防の重要性を伝える演習

※　ＮＰＯ法人災害サポータシステム岩手　大石氏による解説、大型ビジョンによる映像での解説など

③水防技術の向上と効率化

・実践的な総合演習

※　洪水のシナリオに基づく関係機関の対応訓練の実施

・水防技術向上を目指した水防技術競技大会の開催（第２回）

※　東北６県代表水防団による競技大会の実施

・重機を活用した、時代に即した訓練を実施

※　災害協定に基づく協定業者による大型土のう積み工の実施

・水防技術の伝承を図る「水防専門家制度」の紹介

※　水防技術競技大会審査員への参加と制度の紹介を実施

④水防技術の展示、デモ、体験メニューの実施

・企業による新しい水防資材の展示コーナーを併設

※　企業５社による水防資材、防災用品の展示

・来場者の水防に対する理解を促す体験メニューの実施

※　土のう作り体験、縄結び体験、降雨体験装置による大雨の体験